

任意継続加入者の皆様へ

日本私立学校振興・共済事業団
理事長 清家 篤



平成30年5月20日から7月10日までの間の豪雨及び
暴風雨により被災された任意継続加入者の皆様への災害見
舞金等の現地受付及び給付金等の早期支払の実施について

このたびの豪雨及び暴風雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当事業団では、特に甚大な被害のあった地域に職員を派遣し、豪雨及び暴風雨により**住居又は家財に損害を受けられた任意継続加入者の皆様からの災害見舞金等の請求**について、現地で受付等を行い、給付金等を速やかに決定・送金することとしましたのでご連絡します。

については、必要書類等をご用意の上ご来場くださるようお願い申し上げます。

一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

記

I 日時及び会場（ご都合の良い会場にご来場ください。）

月 日	開場時間 (受付時間)	会場及び所在地
9月 7日(金) 8日(土)	10時～17時 (10時～16時)	愛媛県八幡浜市「八幡浜商工会議所 一般研修室」 愛媛県八幡浜市北浜 1-3-25 Tel.0894-22-3411
9月14日(金)	10時～17時 (10時～16時)	岡山県倉敷市「芸文館 202会議室」 岡山県倉敷市中央 1-18-1 Tel.086-434-0400
9月15日(土)	10時～17時 (10時～16時)	岡山県倉敷市「倉敷商工会議所 第5会議室」 岡山県倉敷市白楽町 249-5 Tel.086-424-2111
9月16日(日)	13時～17時 (13時～16時)	広島県呉市 「呉きんろうプラザ 2階大会議室」 広島県呉市中通 1-1-2 Tel.0823-20-0660
9月17日(月) 18日(火)	9時～17時 (9時～16時)	広島県広島市「広島ガーデンパレス 3階鶴亀」 広島県広島市東区光町 1-15-21 Tel.082-262-1134

なお、都合がつかずご来場できない場合でも、災害見舞金その他の給付金の請求を行うことができます。この場合については、給付金請求書その他の必要書類を、共済事業本部まで郵送してください。

II 取扱業務

災害見舞金及び災害見舞金付加金の請求

「災害見舞金・災害見舞金付加金請求書」をその場で受付・審査し、給付金等を早期に支払うための処理を行います。(災害見舞金及び災害見舞金付加金の支給条件等については、【参考1】をご確認ください。)

(1) 請求手続

次の枠内の必要書類をご用意の上ご来場ください。

- | | |
|---|---|
| ①災害見舞金・災害見舞金付加金請求書 | } 本通知に用紙を同封しています。また、私学共済ホームページからも取得できます。(注) |
| ②災害状況明細書 | |
| ③市区町村長又は消防署長等が発行した「り災証明書」 | |
| ④任意継続加入者証、運転免許証など任意継続加入者本人であることが確認できる書類 | |
| ⑤【任意継続加入者本人以外の人が来場する場合】 | |
| ・来場する人の身分確認ができる運転免許証等 | |
| ・請求手続等に関する委任状 | |

(注) 記入方法は、同封の記入例等及び私学共済ホームページをご確認ください。

(2) 給付金等の送金

災害見舞金の給付金等は、登録の銀行等口座に**受付から6営業日後までに**送金する予定です。

(3) 災害見舞品

災害見舞金付加金が決定された加入者には、災害見舞品に代えて**現金3万円**を支給します。

なお、災害見舞金付加金とあわせて支給しますので、これに関する請求手続は必要ありません。

(4) お問い合わせ

給付金等の請求についてご不明な点がございましたら、業務部短期給付課又は現地にてお問合せください。

日本私立学校振興・共済事業団 共済事業本部

〒113-8441 東京都文京区湯島 1-7-5

TEL 03-3813-5321 (代表)

私学共済ホームページ <http://www.shigakukyosai.jp/>

※ 災害見舞金等の請求書等の用紙は、私学共済ホームページ

「平成30年7月豪雨への対応(共済業務)」に掲載しています。

【参考1】

災害見舞金及び災害見舞金付加金は、加入者（任意継続加入者を含みます。）及び被扶養者が水震火災その他の非常災害により住居（注1）又は家財に損害を受けたとき、その損害に対する見舞金として支給される給付です。

〔支給条件〕

下表左欄に掲げる損害の程度に該当した場合に、右欄に定める月数を標準報酬月額に乗じて得た額を災害見舞金として支給します。また、災害見舞金の額の60%に相当する額を災害見舞金付加金として支給します。なお、住居又は家財に対する損害が5分の1以上3分の1未満の場合には、災害見舞金の支給対象となりませんが、標準報酬月額の50%に相当する額を災害見舞金付加金として支給します。

この他に、災害見舞品に代えて現金3万円を、災害見舞金付加金と同時に支給します。

※ 損害が床下浸水などで、住居又は家財の損害の割合が5分の1未満の場合には支給されませんのでご了承ください。

損 害 の 程 度 (注2)	月 数		
	災害見舞金	災害見舞金付加金	合計
1 住居及び家財の全部が焼失し、又は滅失したとき 2 住居及び家財に前号と同程度の損害を受けたとき	3か月	1.8か月	4.8か月
1 住居及び家財の2分の1以上が焼失し、又は滅失したとき 2 住居及び家財に前号と同程度の損害を受けたとき 3 住居又は家財の全部が焼失し、又は滅失したとき 4 住居又は家財に前号と同程度の損害を受けたとき	2か月	1.2か月	3.2か月
1 住居及び家財の3分の1以上が焼失し、又は滅失したとき 2 住居及び家財に前号と同程度の損害を受けたとき 3 住居又は家財の2分の1以上が焼失し、又は滅失したとき 4 住居又は家財に前号と同程度の損害を受けたとき	1か月	0.6か月	1.6か月
1 住居又は家財の3分の1以上が焼失し、又は滅失したとき 2 住居又は家財に前号と同程度の損害を受けたとき	0.5か月	0.3か月	0.8か月
住居又は家財に5分の1以上3分の1未満の損害を受けたとき	—	0.5か月	0.5か月

床上浸水により損害を受けて上の表により、損害の程度を判定しがたいと認めるとき

浸 水 の 程 度 (注3)	月 数		
	災害見舞金	災害見舞金付加金	合計
床上 120cm以上	1か月	0.6か月	1.6か月
床上 30cm以上120cm未満	0.5か月	0.3か月	0.8か月
床上 30cm未満	—	0.5か月	0.5か月

(注1) 災害見舞金の対象となる「住居」とは、加入者又は被扶養者が現に生活の本拠として居住する建物をいいます。この「建物」は、自己の所有のものであるかどうかは問いません。

(注2) 修理等により使用可能であるものは、損害に含まれませんのでご注意ください。

(注3) 床下浸水の場合は支給されません。